

第50期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画

広島市立大学 国際学部 4年 赤畑利奈

2024年 3月

はじめに

Hola!

メキシコ生活も5か月がたち、研修も後半に入りました。日々、1日が速く過ぎていくのを感じます。今月はセマナサンタと呼ばれる約1週間のお休みがあったので、メキシコの北部に行ってきました。また大学の講義の中で広島についてのプレゼンをしましたのでこれらについて紹介していきたいと思います。

広島についてのプレゼン

UNAMで教鞭をとっている方とのご縁があり、授業内で広島の前爆についてお話しさせてもらうことができました。生徒たちは太平洋地理、なかでも第2次世界大戦時のアメリカおよびアジア諸国について学んでいる最中で、出来事の1つとして広島について聞いてもらうことになりました。

普段広島では課外活動として修学旅行生に対し平和公園でガイドを行っており、そのガイドを土台としてプレゼンテーションを行いました。内容は原爆が落とされる前の広島の様子、原子爆弾の影響、そして現在の広島についてです。5人ほどの少人数クラスでしたが、メキシコ人の前で、かつスペイン語で話すというのは何よりも緊張しました。日本の中高生に向けたガイドでも話し方に注意していますが、国も文化も違うメキシコ、資料作りもどのようにすれば伝わりやすいか考え、聞き取れるよう発音を練習するのがとても難しかったです。今回これまで私が聴いてきた被爆証言や被爆者の方の想いを交えて話したためか、学生たちの顔は真剣そのもので深く受け止めてくれているようでした。質疑応答の際「まだ広島に放射能は残っていますか、住んでも大丈夫ですか」と聞かれ、一瞬戸惑ってしまいました。私がメキシコの独立戦争や革命についてほとんど知らなかったのと同様に、メキシコの方々も「Hiroshima」を教科書で学ぶことであってもきこ雲の下にはどのような暮らしがあり、人々はどのような被害を受けたのかなどその詳細を知る機会はないのだと改めて気づきました。また同時に、過去と現在の広島を知ってもらい、「平和」について一緒に議論したいと感じました。今後同様の機会があれば積極的に行っていきたいです。

帰国後、スペイン語で平和公園のガイドをすることがわたしの目標の1つです。そのため今回の経験はその目標に近づく一步を踏み出せた貴重な機会でした。咄嗟の受け答えにはまだまだ力不足を感じる瞬間もあり、これからもっと勉強に励んで参りたいと思います。

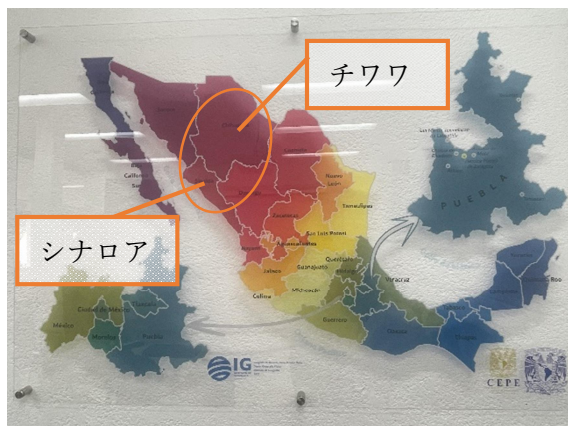


発表時に使った資料の一部

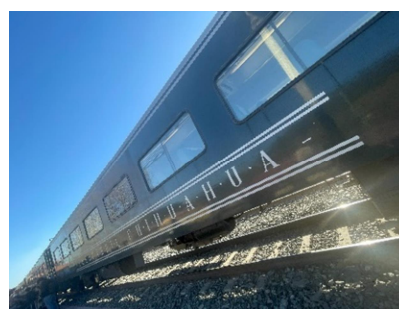
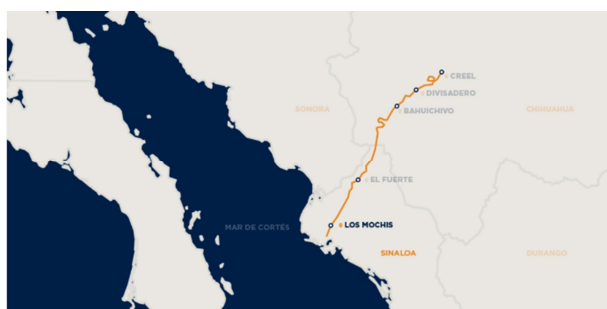
Semana santa ~チワワ太平洋鉄道の旅~

Semana santa (セマナ・サンタ/聖週間) とはいエス・キリストの死からの復活、復活祭(イースター) に先立つ 1 週間の期間を祝う行事です。メキシコ人の大部分はキリスト教カトリックを信仰しているため、毎年この期間は学校が休みになり、休暇を取る企業も多いそうです。日本でいうゴールデンウィークに近いものではないでしょうか。またこの期間はイエス・キリストが 40 日間断食したことに基づき、肉を食べないという慣習もあるようです。ただこれを守るかどうかは州や個人で異なり、メキシコ人みんなが肉を食べないということはありません。ですがスーパーなどでは魚やエビなどがいつもより店頭によく置かれていた印象があります。

私が通う語学学校 CEPE および隣接する大学 UNAM も 1 週間お休みになったので、この機会を利用して旅行に行ってきました。旅の目的はメキシコ北部シナロア州とチワワ州をまたいで走行するチワワ太平洋鉄道に乗ることです。チワワ州は名前の通り犬のチワワの原産地です。メキシコの一般旅客鉄道はチワワ鉄道と 1 月に開通したばかりユカタン半島を走るマヤ鉄道の 2 種類があります。チワワ鉄道の路線は西岸沿いの路線は西岸沿いの街“Los Mochis(ロスモチス)”から、高原地帯の“Chihuahua(チワワ)”まで。全長約 653km、標高差はなんと約 2000m にもなります。山間部の大自然が見られるということでメキシコ人にも

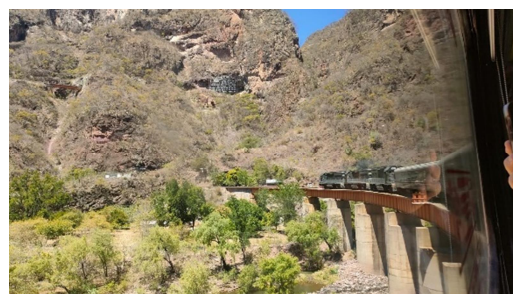
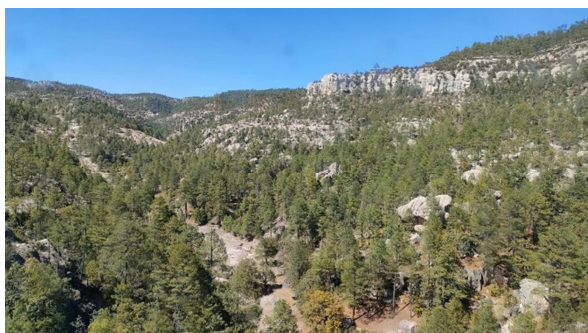


人気のある鉄道です。ただ乗ったことがある人は少ないのか、「チワワ鉄道に乗る」と伝えると皆興味津々で驚きました。チワワ鉄道には各駅停車と急行があり、今回は急行に乗りました。急行はチワワではなく Creel (クリール) までの運行となっています。



路線図と列車の外観

朝6時半ごろに始発ロスモチス駅に到着し、7時過ぎに鉄道が出発しました。客車のほかに食堂車もあり、雄大な景色を見ながらご飯を食べることもできます。3月は乾期にあたるので、ごつごつとした岩肌が壮観な景色を見ることができました。5月以降雨季に入ると青々とした緑に覆われた景色に変わるようです。走行中に名所が近づくとアナウンスがあるため、どのような場所を走っているか知ることができます。テモリス川沿いを走るときは線路が上下2段になっており大きなカーブを描きながら走行しているようです。途中列車が止まるとチワワ州周辺のタラウマラ族の方がかごなどの民芸品を売るために集まっていました。



溪谷と山々の雄大な景色

終点クリールには17時半ごろ到着、約10時間の列車の旅が終わりました。乗車時間は長いですが、変わっていく景色を見ていると飽きることなく楽しむことができました。クリールという街は政府が認定するプエブロ・マヒコ（魔法の街）の1つで中心部には民芸品店が立ち並んでいます。基本的にチワワ鉄道の観光客が多く、とてもにぎわっていました。



先頭列車とクリール駅の看板
チワワ鉄道は各駅停車、急行ともに
毎日運航ではなく限られた曜日だけの
運行なので、乗車される際は
お気を付けを！

メキシコシティに帰るため、州都チワワへバスで移動しました。チワワではちょうどイエス・キリストの受難を再現し、イエス・キリストに扮した人が十字架を担いで歩いていました。このような催しはメキシコ各地で行われているようです。偶然、Semana santa (セマナ・サンタ/聖週間) の宗教行事を間近で見学でき貴重な経験になりました。



紫の羽織を着ているのがイエス・キリスト
兵士に鞭を打たれた後、十字架を背負い歩き出します。その周りを囲むように信者に扮した人が続き
聖書の言葉を読みながら街の人が続いていきます。

4月に入り、日本では新生活のスタートですね。メキシコ生活も残り4か月、語学学校 CEPE の第3学期も終盤に近付いています。メキシコでやりたいこと、学びたいことはまだまだあり時間がいくらあっても足りないように感じます。少しでも多くのことを吸収し、後悔のないように、日々を過ごしていきたいです。

先日外務省にて第51期の募集が始まりました。次期はコロナ前の研修期間に戻り2024年8月中旬から2025年の7月末までの約1年間になります。メキシコの文化にどっぷりとつかり、自分の好きなように彩れる貴重な期間になると思います。スペイン語を勉強したことない方でも大丈夫です。少しでも気になる方は応募してみてください！

それでは

¡Hasta luego!



鮮やかな薄紫の花 ハカランダ



3月のお気に入り写真

日本では桜が咲きほこっている頃でしょうか。
メキシコでは桜ではなく、
ハカランダ
紫の花が街を彩っています。